

# 医療・福祉分野の事業継続

## ～災害に強い医療福祉体制を作る～

地域特性を踏まえた災害時体制の現状と取組

～社会的役割の遂行と福祉・行政との連携と取組～

定員 **100** 名様

参加無料

**開催日時** 2017年12月22日(金) 13:00～16:00(12:30受付開始)

**開催場所** JMS アステールプラザ 大会議室(4F)

〒730-0821 広島県広島市中区加古町4-17

**主催** 内閣官房国土強靱化推進室

東日本大震災や熊本地震を経験して、「事業継続」の取組の必要性がクローズアップされています。「事業継続」は個々の事業者にとってはもちろん、社会全体にとっても、そのレジリエンスを高める上で非常に大きな役割を果たします。特に、医療・福祉施設等においては、災害時に期待される社会的役割ゆえに、地域連携を踏まえた「事業継続」への取組の重要性が高まっております。

そこで、内閣官房国土強靱化推進室では、医療・福祉施設等を対象としたシンポジウムを開催し、有識者による講演や登壇者によるディスカッションを通じて、「事業継続」の重要性、課題の共有を図るとともに、今後の普及促進に繋げていきたいと考えています。

本シンポジウムは、全国6か所<sup>(※)</sup>での開催を予定しています。

メインテーマ「医療・福祉分野の事業継続～災害に強い医療福祉体制を作る～」のもと、各開催地域の特性を踏まえたサブテーマを設定し、事業継続に係る地域独自の取組と課題を抽出した上で、最終回(東京都; 下記参照)にて総括し、今後の方向性等を考えていきます。

中国・四国地域では、サブテーマを「地域特性をふまえた災害時体制の現状と取組～社会的役割の遂行と福祉・行政との連携と取組～」とし、医療・福祉施設等における災害時連携や事業継続の重要性と課題について共有いたします。

(※) 愛知県名古屋市長[2017/11/15(水)]、熊本県熊本市[2017/12/4(月)]、  
広島県広島市[2017/12/22(金)]、大阪府大阪市[2018/1/19(金)]、  
宮城県仙台市[2018/1/23(火)]、東京都千代田区[2018/2/7(水)]にて開催予定です。

詳細は[ <http://www.resilience-jp.org/certification/seminar/> ]をご参照ください。

### プログラム

開会の挨拶 13:00-13:05 (5分)

内閣官房国土強靱化推進室

基調講演 1 13:05-13:40 (35分)

中国地方の特徴を考慮した災害拠点病院の在り方について

本間 正人氏

(鳥取大学医学部  
救急・災害医学分野教授)

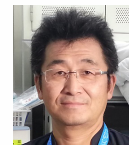


基調講演 2 13:40-14:15 (35分)

大規模災害時の病院間連携における展望と課題

山内 英雄氏

(高知大学医学部附属病院  
救急部 特任准教授)

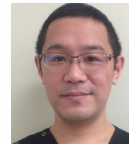


基調講演 3 14:15-14:50 (35分)

災害にむけた医療機関の取り組み

山下 進氏

(徳山中央病院 救急科 主任部長)



休憩 14:50-15:05 (15分)

講演 15:05-15:20 (15分)

国土強靱化の取組と  
国土強靱化貢献団体の認証制度について

内閣官房国土強靱化推進室

パネルディスカッション 15:20-16:00 (40分)

「中国・四国地域におけるレジリエンス強化」

<パネリスト> 中国・四国地域会場講演者

<進行> 紙谷 あゆ美氏(株式会社インターリスク総研リスクマネジメント第三部事業継続マネジメントグループ テクニカルアドバイザー)

閉会 16:00